Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol.77

R4.4.12

今月のキーワード　　学びをつなぐ　　ALT 紹介

新学年になり、先生方も子どもたちも、新しい出会いがあったことと思います。特に４月～５月にかけては、子どもたちにとって、新しい教科書や授業スタイルに慣れていく時期であり、先生方にとっても、子どもたちの実態をみながら授業スタイルを作っていく大切な時期ではないでしょうか。

今回は、このような学年の切り替えの時期に、意識していただきたいことについて掲載しました。既に取り組まれていることもあるかとは思いますが、再確認をお願いします。

今年度も、子どもたちにとって英語の授業が、楽しく充実した時間となるよう、どうぞよろしくお願いします。

子どもの学びをつなぐ

通常、教師は子どもたちの学びに１年単位で関わっています。その学びをうまく継続させていくためには、子どもたちの学びを次年度に適切につないでいく必要があります。

年度始め、以下の点について再確認をお願いします。

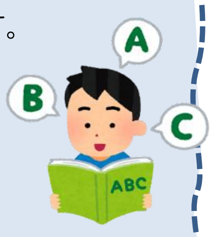
〇教え方をつなぐ

前年度と授業者が替わることで、子どもたちの学び方も多少変化することが予想されます。ただ、校内で引き継ぐことができる場合は、先生方同士で情報交換をし、教え方（子どもにとっては、学び方）のギャップを埋めていくことで、子どもたちにとって段差のない学びとなる場合が多くあります。

例：予習のしかた、ノートの使い方、音読のしかた　など、校内や学年で統一しておく。

例：小学校では、間違いを恐れず発表することが大切であると指導していた。

→　中学校でも、同じ歩調で、積極的に発言や発話をしていく姿勢を評価していく。



〇子どもの実態からつなぐ

小学校段階でも、多くの学校でパフォーマンステスト（動画）やプレゼンテーションを作成しています。その成果物などを教師が見て確認することで、実態を把握し指導の改善につなげましょう。

例：小学校６年生で、５文程度の英文であれば、メモを少し見る程度で発表している。

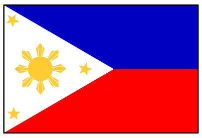
→　中学校では、自己紹介は何も見ずにチャレンジさせてみよう。

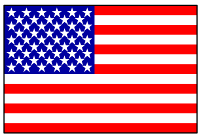
小学校から中学校へ入学して不安なことといえば「テスト」という言葉をよく耳にします。特に前期中間テスト（筆記）は、聞くことを中心とした問題とし、これからの学習に向けた意欲付けをお願いします。また、“卒業するまでにはこんなことができるようになる”といった見通しを持たせることが重要です。学年の始めに学習到達目標（学年毎・卒業時）を、子どもたちと共有してください。

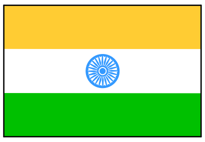
ALT 紹介

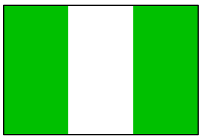
今年度、市内小・中・義務教育学校に勤務される ALT は以下の通りです。
昨年度より２名増え、合計１１名となりました。どうぞよろしくお願いします。

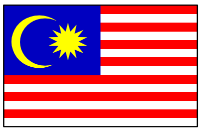
	No.	ALT氏名	出身国	本務校	訪問校
新任	1	Jenefer Obando （ジェネファー・オバンド）	フィリピン 女性	祇園小	緑小１～２年
	2	Hazel Aiko Kikuchi （ヘーゼル・アイコ・キクチ）	フィリピン 女性	石橋小	サポートセンター
	3	Keiko Reyes Hoya （ケイコ・レイズ・ホヤ）	フィリピン 女性	古山小	
	4	Griffini Maclain Jackson （グリフィン・マクレーン ジャクソン）	アメリカ 男性	石橋北小	細谷小
	5	Kayla Rose Cordoza （ケイラ・ローズ・コルドザ）	アメリカ 女性	国分寺小	
新任	6	Athisai Sapriina （アティサ・サプリナ）	インド 女性	国分寺東小	国分寺小１～２年
	7	Oscar Manuel Garza Aguilar （オスカー・マヌエル・ガル ザー・アギラー）	メキシコ 男性	南河内第二中	緑小３～６年
	8	Maimuna Mohammed （マイムナ・モハマド）	ナイジェリア 女性	石橋中	
新任	9	Sho Ishii （ショウ・イシイ）	アメリカ 男性	国分寺中	
新任	10	Loraine Gallardo （ロレイン・ガリャルド）	フィリピン 女性	南河内小中学校 前期課程	
	11	Dhia Irdina Binti Jaffar （ディア・イルディーナ・ ジャファー）	マレーシア 女性	南河内小中学校 後期課程	前期課程１～２年を兼ねる



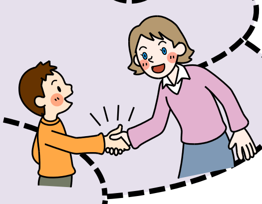








今年度、市では英語でコミュニケーション DAY（＝略して ECD）を企画しています（希望校）。学校規模によって、訪問する ALT の数は違いますが、訪問日は、ALT が１日学校で子どもたちと一緒に過ごすことになります。詳細については今後担当の先生方と打合せを予定しています。子どもたちにとって有意義な活動となるよう、どうぞご協力をお願いいたします。



文責　稲葉亜希恵